

'09年 8月 22日 太郎坊観望会

by kuma

8月22日。

先週に引き続き富士山太郎坊に行ってきました。今日は富士宮五合目が一般車両の乗り入れ禁止期間と言う事もあり、ここ太郎坊には大勢の天文ファンが詰め掛けていました。

丹星からも今日は大勢の仲間がやって来ました。

太郎坊第三駐車場の様子です。

新月時とありこの後も続々と車が増えていきました。

眼下では太郎坊名物とも言える自衛隊の実弾演習による大砲の音が響きまくっていました。



Photo うらしま

明るい内に現地入りして早速ドブを組み上げ光軸の調整を済ませます。

ミラーボックスの裏側には、はるパパ会長作のカウンターウェイト代わりにプレートをマグネットで貼り付けてあり、ワンタッチで脱着可能な優れモノ。今日は重量級のアイピースを多く使う予定なので、これが必須になるんです。



Photo kuma

うらしまさんが愛機の C8-EX を調整中。

これが本当によく見える筒なんです。

今日も惑星観望で大活躍でした。



Photo ねこさん

ヒデアキさんが FS128 を設置中。
 機材の周りにはまるでジャンクセルの如くケースが並んでいます。今日が初披露の延長筒を装備して天頂付近が更に見易くなり稼働率も上がりそうです。
 原村で仕入れたばかりのバーダープラネタリウムの双眼装置も大変良い見え味でした。



Photo kuma

少し離れたところに止めたフィリップさんの Obsession15 インチドブ。暗くなるまでいらしていた事に全く気が付きませんでした。今日も当然 DSO 狙いですよね。



Photo ねこさん

ハセガワさんの FS128。
 切れ味の良い木星が見られました。
 シーイングの悪い空でしたがやはり屈折の像は安定してますね。ハセガワさんには海王星、天王星も見せてもらいました。



Photo ねこさん

うらしまさんが任天堂 DS の星空ナビで星座の説明をしています。ジャイロセンサー付きの優れモノで、これで説明を受けた初心者の二人にも大変判り易かったと好評でした。



Photo ねこさん

はるパパ会長がヒデアキさんの愛犬リリーと戯れ中

。近くにはハスキー犬を連れた天文ファンもおられ、愛犬の話題で話が弾んでいたようです。



Photo ねこさん



Photo ねこさん

遅れて到着のヤスさん。

今日は久々の写真目的でBORG100をセットしています。空のコンディションが悪く、早々にダメ出し宣言が出てたね。

かなり遅れて到着したオッチェラさんのビクセンのシュミットニュートン。大変珍しい筒ですが、ご本人曰く眼視も撮影にも全然ダメなんですと。

眼視は論外としても撮影には活用できそうだけど、まあ短焦点で取り扱いの難しい筒だからね。



Photo ねこさん

機材紹介はこれくらいにして。



夜半を過ぎても透明度は相変わらずイマイチの空でしたが、例によってうらしまさんが素晴らしい星景写真を撮ってくれました。

ちょうど夏の大三角が富士山に沈むところです。富士山頂に向かう登山者の隊列が判りますね。

今日は久々の好天予報でしたので私も予め今夜見る対象をピックアップして頭に叩き込んできました。

観望好機の木星はほんのチラ見した程度でしたが、残念なことにシーイングが悪く前半は3/10程度で木星もブレ気味。ようやく夜半過ぎにらはシーイングも5/10程度まで回復してきましたが、ここ太郎坊にしては珍しく湿気も多くテーブルにも露が付いていました。



今夜はディープスカイを中心に幾つかの難物を織り交ぜながら見るつもりで準備をしてきました。

使用アイピースは、ETHOS-8 mm、Nagler IV -22 mm、12 mm。対象により×2 パワーメイトも使用しています。

Photo ねこさん

この日に狙った対象を並べてみます。

・冥王星

現在いて座北部にあり日没直後に南中。南天低空は特に透明度が悪く天の川もロクに見えない空でしたが、最初から挫折するのもシャクだったのでダメ元で探してみました。

星の並びを丁寧に辿り間違いなく視野の中には導入できているはずですが、それらしい姿はカケラもなし。視野に見えている最微光星を星図で調べたところ、何と 10.6 等級だって。これでは 14 等級の冥王星なんて見えるはずもなくここは潔くギブアップ。初っ端から無謀なトライでした。

・NGC7009(Saturn Nebula)

パッと見でも僅かながら左右に伸びた筋が見え、一応名前の由来通りの姿には見えるものの、いつもの凄みはなし。まあ今日はこんなものでしょ。

ついでに直ぐ西にある M72 と M73 も導入。M72 は密集度の高い球状星団ですが、140 倍で周辺の星が分解していました。

M73 は普段見向きもされない極小の散開星団ですが、私的には結構好きなアステリズムです。その星列を例えて言うと赤塚富士夫の漫画のケムンパスにそっくりでした。

・Minkowski 1-92

アルピレオの北東 2° にある惑星状星雲を久し振りに狙います。210 倍で存在は確実に判るものの、双極分子流の姿を確認しようにもこのコンディションではこれ以上倍率を上げられない。一応見えたという事で。

・PK80- 6.1(Egg Nebula)

これもはくちょう座の対象で HST の画像でも有名な惑星状星雲です。140 倍でこちらは双極分子流らしい姿が確認できました。

・NGC40

ケフェウス座の惑星状星雲。ノーフィルターでもリング両端の隙間が確認できた。どうやら天頂付近はシーイングが良いみたい。

・Piease1(ピースワン)

M15 内部にある惑星状星雲です。この空で見るとはあまりにも無謀ですが位置だけでも確認したくてトライ。M15 のエッジにある星列から辿り凡その位置は判るものの、やはり透明度が悪くて確認できず。試しに OIII を付けたら M15 自体がほとんど消えてしまった。

位置は判ったので次回に持ち越しです。

・G1

M31 アンドロメダ大星雲の伴球状星団。これも存在だけは何とか判りますが、300 倍以上にしないと近くの恒星と分離しないのでこれも次回に再チャレンジ。

・NGC7332&7339

私のペガスス座一押し DSO で共にエッジオンに近いスピンドル状銀河がカタカナの「イ」をひっくり返したように並んでいます。ここまで一で人黙々と見ていましたが、この対象は近くの仲間にも見てもらいました。

・NGC 1&2

α And から導入。N1 の方は難なく見えますが、すぐ南にくっついているはずの N2 はダメ。透明度の良い空で倍率を上げれば何とか行けそうな気がするのでこれも次回に持ち越し。

・NGC7331&伴銀河群

親銀河は今日は貧弱。伴銀河は N7335 と 7440 の二つが見えます。ついでに筒を南に振ってステファンも見ましたが、今日は 3 個だけで疑惑の 4 個目がかすかにと行ったところ。

・NGC891

暗黒帯もそこそこ見えてエッジオンらしい風格を感じる。210 倍で見ると結構な迫力でした。夜半を過ぎて天頂から北側にかけて巨大なつるし雲が発生し、時間が経つにつれてどんどん巨大化している。場内の星屋さんたちも撤収に取り掛かっており、どうやら今日はここまで。残りは、UGC3697(Integral Sign Galaxy)と maffei-1 に筒を向ける予定でしたが、分厚い雲の向こう側ではなす術もなし。もっともこのコンディションでは見えていたとしてギブアップ確実だったでしょうね。



最後に唯一見えていた西空をバックに全員揃って記念撮影。

この写真、簡単そうで実は結構難しいんです。

ここまでしっかりと撮れるのも、うらしまさん長年のノウハウの蓄積による成果ですね。

大半のメンバーが帰宅した後も独り粘って観望を続け、最後に僅かに晴れた雲間から NGC253 を見ると、これが意外と良くて銀河内部の複雑な濃淡もそこそこ見えました。

なんでこの空がもっと早く来ないんだよ ~~泣泣~~

今夜は決して良いとはいえない空でしたが、久し振りに星観を満喫して楽しい一夜でした。

また次回よろしくお願いします。

了